岐阜女子大学

2008年11月 発行

文部科学省委託事業
「大学院教育改革支援プログラム」［平成20年～22年度］
「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」［平成19年～21年度］
「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」［平成16年～18年度］に採択

「デジタル・アーカイブ速報」No.6

文化創造学部 文化創造学専攻（文化情報コース）
大学院文化創造学研究科 文化創造学専攻（通学制・通信制）
URL http://www.gijodai.ac.jp

伝統文化などで、より完全な資料を残すには

平泉 毛越寺執事長 藤里明久氏

平泉 毛越寺執事長 藤里明久氏のお話しより
（平成20年9月6日開催 シンポジウム「伝統文化の継承とアーカイブ・観光・教育の今後の課題」岐阜女子大学文化情報研究センターにて）

岩手県平泉の毛越寺で代々「延年の舞」の祝詞（のっと）を舞っておられる執事長 藤里明久氏よりデジタル・アーカイブに対する重要な発言がありました。とくにデジタル・アーカイブ制作者にとって、大変有益なお話がありましたので、紹介します。

「デジタル・アーカイブ記録保存について話させていただきます。伝統芸能は、やっぱり人から人へ伝承する、伝えていくという作業があります。それで、人は十人十色、それぞれみな違いますし、声の出し方も違う、身体の大きさも違う、いろんなことがあります。それから、いろいろ技術的なことも違うと思っております。

その違いは、1年、2年でなくて、何百年と伝えていくなかで、少しずつ変わってきたりしているのだろうなと思います。これは何か書物で書きあらわしたから残る、伝わるというものでもないなと思います。最近の新しい技術で伝統芸能を残していくということは、われわれ、郷土芸能や民俗芸能の伝承者にとっても、非常にありがたいことと思っております。

例えば、この岐阜女子大学で記録された映像があって、何十年後かにそれを見て、「あの時と今と、ちょっと違うね」というような話になったときに、どちらが正しいか、確かめようがない部分があります。どうしても古いほうが正しいんじゃないかと思ったりすることがありますが、実は、たまたまその人が間違っていた。皆はわかっていたけど、そういうこともままあるわけであります。

祈詞（のっと）

毛越寺本堂

それで、そういうデジタル化されたり記録されたものが、われわれ伝承している現場にもう1回フィードバックされて、そこでまた検証されて、何回かそういうものを繰り返していくと、全体としての、ある意味で完全なかたちが伝わっていくのかなと思います。

それでも、映像というのはある一面でしかありませんので、四方から見れば、みんな人間の姿が違うわけでありますから、演じている者にとっては片面、あるいは4分の1しか見ていない。それをすべてそうだよという完全なものとしては、なかなか見られない。声の出し方、あるいは手の動かし方、脚の動かし方、これはなかなか口だけでは伝わらないものですので、映像があることによって、こういう伝統芸能が残されていく。そういうかたちになるのではないかなと思っております。」

デジタル・アーカイブに対する意見としては、次のようだと思います。

①最近の新しい技術で、伝統芸能を残していくことは非常にありがたい。
　どうしても古い方が正しいと思うが、たまたまその人が間違っていたこともある。
②声の出し方、手の動かし方、足の動かし方は口だけでは伝わらないので、映像で伝統芸能が残されていく。
③映像は一面しかなく、四方から見れば4分の1であり、完全なものとしては、なかなか見られない。
④そこでデジタル･記録された映像を実演している専門家が検証し、完全な形で伝える必要がある。

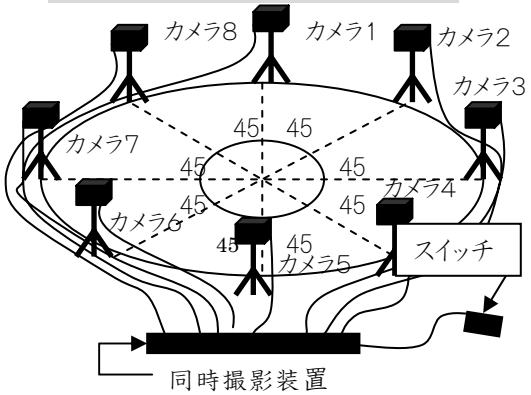
①、②は、これまでのデジタル･アーカイブですでに実践されてきました。③、④については、いろいろな研究がされています。岐阜女子大学では、演者である執事長　藤里明久氏のご指摘に対し、次のような方法を用いています。
　③の映像の多面撮影、記録の課題は、

（a）ハイビジョンを用いて、4方向から撮影･合成しています。

延年の舞

（平成18年1月　長瀧白山神社にて撮影）
六日祭で執り行なわれる延年の舞の総練習をハイビジョン映像での記録撮影を行った。4方向から撮影した動画を動画処理ソフトで編集し、1つの画面に4分割表示できるように合成してある。

8方向同時撮影のカメラ配置図



郡上踊の撮影の様子

(b)デジタルカメラを４台、８台、16 台等、同時にシャッターを切り、一斉に撮影･記録しています。

郡上踊　ヤッチク（平成 18 年９月　郡上市総合文化センターにて撮影）

④の記録映像の検証として、各分野の専門家に映像を見せて、それに対する問題点の指摘を、映像と併せてデジタル･アーカイブ化しています。(１つのオーラルヒストリーとしての役割を持っています。)

岐阜女子大学では、平成 18 年には岐阜県郡上市白鳥町長瀧白山神社の延年の舞を、8 方向からのデジタルカメラ、4 方向からハイビジョンで撮影しました。

また、郡上市の郡上踊りは、8 方向から撮影し、後に踊りの指導者から映像を見ていただいて、問題点の指摘を受けています。

【郡上踊り保存会会長　藤田正光氏によるお話】

「これ歌詞なんですけれども，調度宝暦義民伝の歌詞を歌っております．踊りそのものは，右手右足，同じような動作で動いております．手の上げ方，足の上げ方，ほとんどこれね，右と同じように，交互じゃなしに，動いて，あの，進行方向は，これも時計の針周りでございます．」

撮影したビデオを見ながらお話していただきました。

動作も含めた説明(平成 18 年 10 月　郡上総合文化センターにて撮影)

執事長 藤里明久氏のご指摘に少しでも対応できるように、今後とも進みたいと考えております。

文責　後藤

デジタル・アーキビストとして、これだけは知っておこう

「デジタル・アーカイブの基礎(2)」

地域の伝統文化などのデジタル･アーカイブの撮影のための舞や踊りの伝統芸能や伝統技術など動作･所作をこれまでの一方向からの映像の記録･保存から、いろいろなメディアを用いて、より正しく伝える方法を考えてください。たとえば、「延年の舞」を代々伝えてこられた演者でもある平泉の毛越寺の藤里明久執事長からのご指摘にあるように伝統文化を伝えるため専門家の指摘を記録し、継承する必要があります。

「通常の撮影方法でまず映像を記録」･･･見せるための映像

次にデジタル･アーカイブとして必要な情報を下記のように記録します。

（1）いろいろな方向(多視点)からハイビジョンで撮影記録

動作･所作など各視点から同時記録します。(各カメラ記録と多方向から撮影した映像の合成記録)

（2）多視点からデジタルカメラで同時撮影・記録

重要動作を8方向、16方向などデジタルカメラで同時記録します。

（3）専門家による映像記録の動作・所作の検証･･･(実演の専門家)

舞や踊りの所作･動作が正しいかどうか、専門家が検証し、その結果を記録します。静止画を用いてその問題点を文書･図等を用いて指摘を記録します。

（4）映像記録に評価結果を音声等追加記録

例　4方向からハイビジョンの撮影を、1画面に合成した映像記録に専門家の検証結果を各プロセスの解説(問題点)として記録してください。

（5）伝統芸能の歌詞等の文書記録

歴史的な背景(変化)の説明も含め歌詞等を文書で記録してください。

（6）一般的なメタデータの記録･･･各分野の標準または通常用いられるメタデータ

各分野で標準的に用いられている情報カテゴリーに対応した文字情報を記録してください。

[表題、分類、氏名、説明、キーワード、属性、場所の現位置情報(GPS)等(経度･緯度･高度･時刻･気温･地図も含む)の記録、著作権、プライバシー(特に演者等の諸権利)、データの様式など基本データを記録しておいてください。]

（7）【必要なとき】舞・踊りの背景の撮影記録

必要に応じて、GPSを用いて、位置とその舞が行われている場所の背景を全景の静止画(360度)やハイビジョン等を用いて撮影･記録し、将来に向けて、どのような場所で演じられたか情報を記録してください。

お願い　**デジタル・アーカイブ開発を依頼される方々へ**

市町村や博物館・図書館などの施設、会社、学校等でデジタル・アーカイブの開発をされるときは、ぜひデジタル・アーカイブ制作の基礎能力を持っているデジタル・アーキビストや企画・計画能力をもつ上級デジタル・アーキビストにご相談下さい。

上記のような事項も配慮し、デジタル・アーカイブの構築の支援をしていただけると思います。

制作会社を決定されるとき、ぜひ会社のデジタル・アーキビスト資格者にお尋ね下さい。